

# 一般財団法人伊勢神宮崇敬会

## 平成 30 年度事業報告

(自平成 30 年 4 月 1 日 至平成 31 年 3 月 31 日)

本年度は、神宮への参拝者数が式年遷宮以降も 800 万人を超える中、設立六十五周年記念事業「如雪園」の復興事業をはじめ各事業の一層の充実と工夫に努め神宮崇敬の裾野の拡充に努めた。会員事業においては、地方本部と連携し退会抑制、入会促進策を講じ組織強化を図った。宿泊及び研修施設の神宮会館では、本会の中心となる事業の一つ“早朝参拝案内”が大変好評を得ており順調に稼働した。また健康意識の高まりに鑑み、平成 30 年 10 月 1 日より全客室を禁煙化とした。直会昼食をはじめ、お伊勢まいるの記念品なども広く謹製・頒布する事ができた。諸施設では、文化事業を実施し崇敬会の公益性を広め一般の方にも有効利用いただけるよう努めた。

### 1. 文化及び芸術の振興

#### ① 第 63 回神宮奉納大相撲

日本相撲協会協賛のもと、国技である大相撲の取組を通じ守り伝えられた「心・技・体」の神髄を披露。内宮神苑にて横綱 鶴竜・横綱 白鵬の土俵入りと、三役力士による揃い踏み奉納し、神宮相撲場では例年同様にトーナメント戦等を行った。(4 月 1 日)

手数入り 約 7,500 名、神宮相撲場 約 2,500 名<幕内トーナメント優勝者 白鵬 翔(はくほう しょう)・準優勝者 御嶽海 久司(みたけうみ ひさし)>

#### ② 神宮植樹祭の参列

森林機能の大切さを学び、自然に対する畏敬の念を体感するため、神宮宮域林で檜の苗木を植樹するお祭りに参列した。

(4 月 26 日) 20 名<29 年度 18 名>

#### ③ 神宮祭典の奉拝及び伊雑宮御田植奉仕

2,000 年にわたり続けられている恒例祭を奉拝し、崇敬の心を養うとともに、守り受け継がれてきた歴史・文化・伝統に触れた。

六月(6 月 16 日) 28 名<29 年度 27 名>・十二月(12 月 16 日) 26 名<29 年度 27 名>の月次祭(内宮)と神嘗祭(外宮) (10 月 15 日) 98 名<29 年度 120 名>の神宮三節祭における由貴夕大御饌の儀を始め、平安・豊穰を祈念する恒例祭を奉拝した。また、伊雑宮の御料田にて御田植奉仕(6 月 26・27 日) 16 名<29 年度 24 名>を行った。

#### ④ お伊勢さん 125 社まいる

本年度で 18 期目。神宮すべてのお社を年 3 回または年 5 回に分けて巡拝し、神祀りの心を学んだ。滞在日程により、参加が難しかった方にもご参加いただけるよう 1 泊 2 日で 5 回に分けて巡拝できる日程を追加した。

※3 回巡拝日程

(5 月 6~8 日、10 月 21~23 日、3 月 10・11 日) 59 名<平成 29 年度 56 名>

※5 回巡拝日程

(4 月 22・23 日、5 月 20・21 日、9 月 9・10 日、10 月 1・2 日、11 月 1・2 日) 113 名<平成 29 年度 105 名>

#### ⑤ 神宮ばら園の運営

昭和 62 年 10 月に開園した神宮ばら園を運営し、市民を始め伊勢を訪れる方々に安らう場所を提供。また、皇室敬慕の思いを育むため、皇族のお名前を冠したプリンセス・ローズの育成を行い公開した。(ばら展 5 月、11 月〔三重ばら会共催〕)

⑥ 第 41 回神恩感謝祭

年に一度、会員が伊勢に集い、神宮の広大なご神恩に感謝の真心を捧げ、会員各位の隆昌を祈念するお神楽を奉納。本年度は、月読宮由貴夕大御饌の儀を奉拝。併せて諸事業及び会員活動など本会の現状報告及び講演会を実施した。

(6月18・19日) 169名<平成29年度202名>

⑦ 神宮奉納文化事業

神宮会館大講堂にて『川井郁子奉納コンサート』を開催。日本古来より受け継がれる文化及び芸能・芸術の振興を図り、神宮崇敬の裾野の拡充はもとより、心の豊かさの涵養に努めた。(9月12日) 約850名

⑧ 第 47 回初穂曳への参加

初穂米を募り伝統文化行事である「お木曳」そのままに執り行われる初穂曳に参加し、外宮神嘗祭・由貴夕大御饌の儀を奉拝。食の文化を大切にしてきた日本の心を取り結び、培われてきた豊穰に感謝する気持ちを体験した。〔神社本庁協力〕

(10月15日) 304名<平成29年度314名>

⑨ 第 64 回伊勢神宮新穀感謝祭

全国から毎年多数の参列者を迎えて新穀収穫への感謝の奉告祭を執り行った。併せて農業をはじめとした産業の振興に貢献された功労者の顕彰を行い、我が国の農事全般の発展を祈念した。(11月8日～12月12日) 参列者9,218名<平成29年度9,186名>

農事関係功労者顕彰26名

⑩ 第 57 回伊勢神宮奉納書道展

毎日新聞社との共催で全国各地から書作品を公募し、内宮饗膳所に於いて展示。1,400年以上にわたり育まれてきた書道の伝統文化を振興し、書にみる芸術性を喚起した。

(11月17日～26日)

出展14,217点 展示563点<平成29年度 出展13,681点 展示550点>

⑪ 平成 30 年の御礼まいり

大御神様のご神恩に感謝の真心を捧げ、皇室の弥栄、国家繁栄及び各位の安寧隆昌を祈念するお神楽を奉納。あわせて瀧原宮由貴夕大御饌の儀及び天長祭も奉拝した。

(12月22・23日) 159名<29年度110名>

⑫ お神楽奉納と神宮茶室での呈茶

本年度で15期目。伝統ある風習を体験し報恩感謝の祈り(神楽・御饌)を個々に捧げるとともに、神宮茶室において茶道により伝えられてきた簡素な美と心に触れた。

(5月、9月、10月、11月、2月 定員各20名 年5回) 80名<29年度89名>

⑬ 設立 65 周年記念事業

雪が降る如く花々が咲き乱れていたという「如雪園」の復興事業を実施した。

⑭ 第 64 回神宮奉納大相撲

日本相撲協会協賛のもと、国技である大相撲の取組を通じて守り伝えられた「心・技・体」の神髄を披露。内宮神苑にて横綱 白鵬・横綱 鶴竜の土俵入りと、三役力士による揃い踏み奉納し、神宮相撲場では例年同様にトーナメント戦等を行った。(3月31日)

手数入り 約7,700名、神宮相撲場 約2,500名<幕内トーナメント優勝者 北勝富士大輝(ほくとふじ だいき)・準優勝者 錦木 徹也(にしきぎ てつや)>

## 2. 児童及び青少年の健全育成

### ① 伊勢の伝統文化体験

全国の小学生とその父兄を対象に伊勢を中心に育まれてきた精神文化を学習し、健全な心の育成を目的に開催。雅楽教室・火起こしなど体験型教室を行った。

(8月26・27日) 30名<平成29年度21名>

② 第56回伊勢神宮奉納全日本学生弓道大会

全日本学生弓道連盟・神宮司庁・三重県弓道連盟との共催のもと、第66回全日本学生弓道王座決定戦・第64回東西学生弓道選抜対抗試合・第42回全日本学生弓道女子王座決定戦・第42回女子東西学生弓道選抜対抗試合を開催した。(11月23～26日)

③ 第15回神宮奉納お伊勢まいり作文コンクール

全国より伊勢の文化に触れる作文を募集し、国語の表現力を高め優秀作品を表彰した。

(表彰式3月16日) 応募数179作、受賞者6名

3. 会員組織の拡充と展開

崇敬会会員の現状

正会員 6,616名 会員 7,585名 準会員 4,435名 合計 18,636名 維持会員 287件

※正会員 6,470名 会員 6,997名 準会員 4,052名 合計 17,519名 維持会員 279件

〈H30.3.31〉

① 入会促進

日本人の大きな精神的支柱である伊勢の神宮を多方面から紹介し、受け継がれてきた神を敬い日本を愛する心の涵養に努めた。

遷宮を次の世代へと紡ぐ懸け橋として祭典案内等の施策を講じ、会員の拡充を図った。

今期目標 個人会員 19,000名 (正会員 6,700名 会員 7,700名 準会員 4,600名)

維持会員 290件

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
東京都	897	1,549	941	3,387
神奈川県	426	362	162	950
埼玉県	225	249	129	603
群馬県	85	76	50	211
千葉県	326	199	82	607
茨城県	68	54	42	164
栃木県	60	34	53	147
山梨県	38	83	33	154
北海道	244	191	165	600
宮城県	72	73	68	213
福島県	79	151	20	250
岩手県	19	38	62	119
青森県	70	29	14	113
山形県	39	22	6	67
秋田県	23	41	5	69
三重県	339	295	75	709
愛知県	553	515	343	1,411
静岡県	256	205	624	1,085
岐阜県	145	161	50	356
長野県	129	432	82	643
新潟県	82	77	91	250
福井県	39	35	18	92
石川県	99	63	31	193
富山県	123	142	32	297

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
京都府	169	146	49	364
大阪府	438	486	138	1,062
兵庫県	207	236	87	530
奈良県	59	88	21	168
滋賀県	77	54	11	142
和歌山県	42	48	19	109
鳥取県	30	32	21	83
島根県	39	44	50	133
岡山県	96	118	69	283
広島県	97	66	31	194
山口県	110	77	24	211
徳島県	58	92	4	154
香川県	66	39	22	127
愛媛県	39	27	37	103
高知県	100	74	19	193
長崎県	29	303	8	340
福岡県	294	317	291	902
大分県	44	50	14	108
佐賀県	54	65	276	395
熊本県	65	85	17	167
宮崎県	11	14	9	34
鹿児島県	33	30	13	76
沖縄県	19	18	26	63
海外	4	0	1	5
合計	6,616	7,585	4,435	18,636

## ② 第 23 回会員研修会

神宮神田での稲刈り奉仕及び内宮古殿地清掃奉仕をはじめ、神宮に関する知識を講話等で学んだ。(9月25・26日) 84名<平成29年度82名>

## ③ 会員研修会(特別編)

特別の許可を得て、外宮の夜間奉拝をはじめ、外宮古殿地清掃奉仕を行い、神宮崇敬心の涵養に努めた。(10月28・29日) 66名<平成29年度台風により取り止め>

## 4. 宿泊、研修施設等の運営

### ① 神宮会館の運営

宿泊研修施設の神宮会館を運営し、お伊勢まいりの宿として細やかに応接し、本会職員が早朝参拝案内をするなど参宮促進と御神徳宣揚に努めた。

宿泊利用者 39,780名 (1日平均 109.0名・部屋稼働率 69.31%)

※平成29年度 39,958名 (1日平均 109.5名・部屋稼働率 70.53%)

月度	大人	学生小人	宿泊合計	月度	大人	学生小人	宿泊合計
4	2,855	305	3,160	10	2,903	213	3,116
5	2,922	280	3,202	11	2,946	812	3,758
6	2,565	374	2,939	12	2,622	815	3,437
7	1,897	1,878	3,775	1	2,882	92	2,974
8	3,562	997	4,559	2	2,110	520	2,630
9	2,421	429	2,850	3	2,808	572	3,380
				合計	32,493	7,287	39,780

### ② 宿泊企画の実施

#### (ア)第 18 回八朔まいりとお水汲み

伊勢では八朔の日(8月1日)に、五十鈴川の水をご家庭の神棚に供え、一年の家内安全・無病息災を祈願する風習があり、体験することにより敬神崇祖の念を涵養した。

(7月31日・8月1日) 34名<平成29年度48名>

#### (イ)両宮特別参拝と日別朝夕大御饌祭奉拝

豊受大御神様の御鎮座以来つづけられている、日別朝夕大御饌祭の奉拝と両宮特別参拝を行った。お祭りの意義を啓蒙し、五穀豊穰を祈り、食の恵みに感謝した。

(9月20・21日) 15名<平成29年度14名>

#### (ウ)第 19 回冬至まいりと注連縄作り体験

冬至の早朝、宇治橋鳥居の正面に昇る朝日を拝み、過ぎた一年に感謝する風習を体験。自然に対する畏敬の念を喚起した。また、伊勢では一年を通して玄関に注連縄を飾り無病息災を願う風習があり、その注連縄作りを体験し、平安への思いを涵養した。

(12月21・22日) 68名<平成29年度62名>

#### (エ)還暦厄年まいり

人生儀礼で特に節目の年となる厄年・還暦。無事迎えられたことへのご神恩に感謝し、特別参拝とお神楽の奉納を行った。(2月8・9日) 21名

#### (オ)第 28 回お伊勢さん正宮・別宮まいり

両宮の御正宮と14の別宮を参拝し、朱印を集印した。途中、神宮ゆかりの施設も訪ねた。

(2月17・18日) 29名<平成29年度32名>

## 5. 会報、図書その他印刷物の編纂と刊行

### ① 会報誌「みもすそ」

神宮に関する記事、伊勢志摩の歴史・文芸・習俗の話題、本会行事などの情報発信源の主

力媒体として編集し、各会員宛に配布。創刊から4月で86号発行となった。4月(86号)は「伊勢街道」、7月(87号)は「伊勢本街道」、10月(88号)は「神楽祭」、1月(89号)は「如雪園」を特集した。(年4回発行)

② 会報誌「みもすそ」総集編

設立65周年事業の一環として会報誌「みもすそ」の創刊号から第40号までの特集をまとめた「みもすそ総集編第I編」を発行した。

③ 叢書

御神徳の宣揚、神社神道の昂揚を図るため、神道有識者に依頼し刊行した。叢書23『弥次さん喜多さんのお伊勢参り』

東京大学名誉教授、皇學館大学特別招聘教授 かんのかくみょう 菅野覚明氏

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

① 昼食の利用促進

神社関係者を中心に働きかけ、お神楽奉奏の団体には直会饗膳も提案した。利用者44,770名(平均122.7名/日)、平成29年度41,998名(平均115.1名/日)

② 物品、記念品の販売

会館利用者及び崇敬会会員の利便性を図るため、売店を設け記念品・特産品の販売並びに木製品・参宮記念品の謹製・頒布を行った。また、通信販売を行いホームページでの紹介を通じて販路の拡大に努めた。

③ 研修施設及び神宮相撲場の利用促進

講堂(大ホール・会議室)及び神宮相撲場の利用促進を図った。

④ 神宮参拝者駐車場の運営

内宮前の渋滞緩和の一助として、神宮会館横に隣接する立体駐車場を運営した。

年度	乗用車	バス	合計	有料乗用車	有料バス	有料合計
30年度	172,979台	901台	173,880台	151,662台	15台	151,677台
29年度	169,858台	943台	170,801台	142,285台	19台	142,304台

⑤ コインロッカーの運営

宇治橋前にコインロッカーを設置し、内宮参拝者の便宜を図った。

⑥ 太陽光発電事業の運営

我が国のエネルギー政策であるCO2排出削減や再生可能エネルギー導入拡大への協力を行い地球環境保護に貢献するとともに、神宮会館経営の一助とした。

⑦ 神社関係者大会等に出向

各地で開催の神社関係者大会等に出向き、本会の広報を行った。

⑧ スポーツ及び文化活動への助成

行政を含めた協賛・後援依頼団体の行事及び事業の助成をした。

⑨ 参宮案内所における案内

神宮の参宮案内所(宇治橋前)に職員を派遣し、神宮に関する案内を行った。

役職員数

理事 12名、監事 3名、評議員 15名、職員 藤本事務局長 外50名

## 会議

1. 運営委員会	5月19日 (神宮司庁会議室)	平成29年度事業報告・決算	他
2. 監事会	5月28日 (神宮会館会議室)	業務及び会計監査	
3. 第6回定時評議員会	5月29日 (神宮会館会議室)	平成29年度事業報告・決算	他
4. 第12回理事会	5月29日 (神宮会館会議室)	平成29年度事業報告・決算	他
5. 代議員会	6月8日 (神宮会館大講堂)	平成29年度事業報告・決算	他
6. 運営委員会	8月24日 (神宮司庁会議室)	平成30年度事業報告 (中間)	他
7. 事務局長会	9月17日 (神宮会館会議室)	平成30年度事業報告 (中間)	他
8. 運営委員会	3月14日 (神宮司庁会議室)	平成31年度事業計画・予算	他
9. 臨時評議員会	3月26日 (神宮会館会議室)	平成31年度事業計画・予算	他
10. 第13回理事会	3月26日 (神宮会館会議室)	平成31年度事業計画・予算	他

## 施設の改善

神宮司庁に依頼して施工された施設改修

本館受変電設備改修工事、神宮会館貴賓館屋根修繕工事

本会にて実施した施設改修

喫煙ブース設置(本館・西館)、客室完全禁煙化クリーニング、立体駐車場エレベーター修繕、立体駐車場歩行者通路壁面補修、LED化工事(管理棟、駐車場他)、等

以 上